

緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和六年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戸口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告竝廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセズ然リト雖尙遺憾ナキヲ保セザルニ依リ漸次之ガ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應ゼシムル所アラムトス

昭和八年三月

福井縣知事官房 夕



昭和六年 福井縣統計書

第四編(警察衛生等)目次

總 說.....	1	39 貸座敷及藝妓妓數.....	24
警 察		40 演劇興行.....	24
1 警察部職員(現員).....	3	41 寄席興行.....	24
2 警察署職員配置(定員).....	3	42 活動寫真興行.....	24
3 警部補巡查勤続年數及俸給.....	3	43 質屋及質物.....	25
4 警部補退隱料遺族扶助料及諸給.....	4	44 質屋及古物商収縮法ニ依ル徵收物件.....	25
5 巡查退隱料遺族扶助料及諸給.....	5	45 集會及結社.....	25
6 巡查採用及教習.....	5	46 宿屋宿泊人員.....	26
7 警察上ノ賞與.....	5	衛 生	
8 警察共濟組合救濟金.....	6	47 醫 師.....	26
9 警察上死傷者.....	6	48 齒科醫師.....	28
10 警察電話.....	7	49 藥劑師・藥種商・製藥者・阿片販賣者.....	28
11 令狀執行件數.....	7	50 賣 藥.....	28
12 諸犯罪發生及檢舉件數.....	8	51 入齒抜齒口腔治療接骨及鍼灸按摩.....	29
13 諸犯罪及檢舉人員.....	8	52 看護婦.....	29
14 諸犯罪別檢舉件數.....	9	53 產婆看護婦理髮試驗.....	30
15 未成年者喫煙禁止法違反.....	9	54 產 婆.....	30
16 檢 視.....	10	55 鍼術灸術按摩術試驗.....	30
17 檢 證.....	10	56 トラホーム檢診成績.....	31
18 檢視者及檢證者.....	11	57 トラホーム患者.....	32
19 盜 雞.....	11	58 トラホーム患者治療.....	32
20 盜雜物.....	12	59 結核健康診斷成績.....	32
21 盜雜物發見.....	12	60 傳染病患者.....	33
22 賊置捨物.....	13	61 傳染病患者死者年齡別.....	33
23 變 死.....	14	62 娼妓健康診斷.....	34
24 自殺者.....	14	63 花柳病患者.....	34
25 自殺者ノ年齡及因由別.....	15	64 中 毒.....	36
26 救 護.....	16	65 屠殺検査.....	36
27 密賣淫及媒合容止者處分.....	16	66 衛生試驗.....	37
28 行政執行處分.....	17	67 病 院.....	37
29 説諭及保護.....	17	68 病院患者病類別.....	38
30 取締諸營業者數.....	18	69 傳染病院及隔離病舎.....	39
31 遺失物處分.....	18	70 藥品巡視.....	38
32 火 災.....	20	71 種痘ノ一(第一期).....	40
33 火災原因.....	20	72 種痘ノ二(第二期).....	40
34 火災損失及死傷.....	21	73 娼妓病院.....	41
35 消防組.....	22	74 衛生ニ關スル諸犯罪處分別.....	41
36 銃砲及火藥類免許賣買.....	22	75 死亡總數ト結核病死亡者數トノ比較.....	42
37 狩獵免狀下附人員.....	23	76 マラリヤ患者年齡別.....	43
38 捕獲鳥獸數.....	23	77 マラリヤ治療方法別.....	43

又

工 場

78 工場臨検.....44

79 適用工場数年次比較.....44

80 警察署別適用工場数.....45

81 警察署別適用工場職工数.....46

82 常時職工十人未満使用ノ危険及衛生
上有害ナル工場並職工数年次比較.....48

83 寄宿舎ノ設アル適用工場及寄宿職工数年次比較.....48

84 職工扶助金額.....49

85 工場主ノ管理スル職工貯蓄金.....49

86 工場災害.....50

87 工場法違反.....52

88 取縮原動機.....52

89 動力傳導装置ニ因ル災害.....52

健康 保 險

90 保険經濟收支狀況.....53

91 工場事業場及被保險者數.....53

92 業態別工場事業場及被保險者數.....54

93 保険給付.....54

94 傷病類別療養件数日數及休業日數ノ一(業務上).....55

95 傷病類別療養件数日數及休業日數ノ二(業務外).....55

96 死亡原因病類別數.....56

雜

97 新聞紙.....57

總 說

警 察

警 察 區 劃

昭和六年末現在ニ於ケル縣警察行政區劃ハ其ノ監督廳タル警察部ノ下ニ警察署十三、警部補派出所三、巡查部長派出所十六、巡查派出所二十三、巡查駐在所百五十九ヲ置キ市百七十七箇町村ノ警察事務ヲ管理セシメ以テ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ縣民ノ幸福維持ニ努メツツアリ

警 察 官 吏

昭和六年末現在ノ警察官吏ハ警察部長一人、警視四人、警部二十一人、警部補三十人、巡查部長七十三人、巡查四百十一人ニシテ前年ニ比シ巡查部長二人ヲ減シタルモ巡查ニ於テ八人ヲ増シタリ

巡 査 勤 績 年 數

昭和六年末總數四百八十四人中五年以上十年未滿百三十一人(二割七分)最多ニシテ之レニ亞クハ十年以上十五年未滿七十七人(一割五分)十五年以上二十年未滿二十一人(四分三厘)二十年以上二十五年未滿十六人(三分三厘)二十五年以上三十年未滿五人(一分)三十年以上三十五年未滿一人(二厘)三年以上五年未滿九十六人(一割九分八厘)一年以上三年未滿九十五人(一割九分六厘)一年未滿四十二人(八分六厘)等ナリ

火 災

昭和六年中ノ火災發生度數ハ248件ニシテ失火ハ221件(8割9分)ヲ占メ放火24件(9分7厘)雷火及不審火3件ナリ。而シテ延焼セシ度數39件延焼セサリシ度數76件、直ニ消止メ度數133件ナリ。火災ニ罹リシ軒數ハ347件、内全戸焼失227戸其焼失坪數7,738坪、損失財產見積額399,059圓ニ達ス更ニ之ヲ原因別ニ見レバ焚火ノ不始末36件、取灰ノ不始末26件、放火24件、炬燵ノ不始末21件、小兒ノ弄火20件等ヲ重ナルモノトス前年末ニ比シ火災發生度數ニ於テ34件、損害財產見積額ニ於テ215,609圓ノ減少ヲ見ル

消 防 組

昭和六年末現在ノ消防組ハ173組、部數558部、組員19,774人ヲ以テ組織ス前年末ニ比スレハ部數16ヲ減シ人員29人ヲ増シ自動車唧筒一台、瓦斯倫唧筒11台ヲ増加セリ

狩 獵

昭和六年中ニ狩獵免許狀ヲ下付セシ人員ハ2等11人、3等568人ナリ而シテ甲種184人乙種395人ナリ。又捕獲セシ鳥類ハ435,166羽、價額81,065圓獸類4,140頭、價額20,548圓ヲ算シ其ノ鳥獸類ノ重ナルモノハつぐみ、しろばら、まみちやじない、あみり兔、あなぐま等トス

衛 生

醫 師

昭和六年末現在ニ於ケル醫師ノ總數ハ四百四人(内女醫十二人)ニシテ醫師一人ニ對シ現在人口ハ千五百三十九人ニ當レリ。而シテ之カ分布狀況ヲ觀ルニ福井市百五人、坂井郡五十六人、今立郡五十二人、大野郡三十四人、敦賀郡二十九人ハ多キ地方ニ屬シ大飯郡六人最モ少シ之レヲ經歷別ニ觀レハ大學卒業七十六人(壹割八分三厘)官公立専門學校卒業二百二十三人(五割五分)試驗及第八十七人(二割一分)其他十八人(五分七厘)ナリ

齒 科 醫 師

昭和六年末現在ニ於ケル齒科醫師總數ハ八十二人(内女齒科醫師六人)ニシテ前年ニ比シ二人減少セリ其ノ經歷ハ官公立私立専門學校卒業五十人試驗及第三十二人ナリ

ト ラ ホ ー ム 檢 診

昭和六年中ニ於ケル「トラホーム」檢診人員ハ六万一千九百四十九人ニシテ内患者ト決定セル人員ハ七千二百二人ナリ而シテ檢診人員百ニ對スル患者ノ百分比ハ十一人六(前年十一人九)ノ割合ナリ患者ト決定セル人員中重症壹千二百六十九人(一割八分)輕症三千九百六十五人(五割五分)疑似症壹千九百六十八人(二割七分)ナリ

傳 染 病 患 者

昭和六年ニ於ケル傳染病患者數ハ三百八十四人ニシテ前年ヨリ壹百三十一人増加セリ而シテ腸チブス最モ多ク二百二十四人(五割八分)ヲ占メ實扶里亞壹百二十人(三割一分)之ニ亞キ赤痢十八人(五分)バラチブス十三人(三分)猩紅熱九人(二分)ナリ

又患者百人中死亡率ヲ觀レバ次ノ如シ

腸壁扶斯	26.32	實扶里亞	20.00	赤痢	38.30
バラチブス	15.38				

花 柳 病 患 者

昭和六年中病院又ハ開業醫ニ於テ取扱ヒタル花柳病患者ハ六千九百六十四人ニシテ内男四千五百九十三人(六割六分)女二千三百七十一人(三割四分)ナリ之ヲ前年ニ比スレバ男三百八十人(七分六厘)女三百六十九人(一割三分)ヲ孰モ減少シ總數ニ於テ七百四十九人(九分七厘)ヲ減少セリ

更ニ病類別ニ觀レバ梅毒二千六百八十人(三割八分二厘)淋病三千五百五十八人(五割一分四厘)軟性下疳七百二十六人(一割四厘)ナリ

病 院

昭和六年末現在病院數ハ十ニシテ年内患者總人員ハ五万七千三百七人ニシテ前年ニ比シ五百五十四人ヲ増加セリ患者ヲ病類別ニ觀レバ神經系及五管病一萬一千七百二十九人(二割五厘)最モ多ク呼吸器病一萬一千五百六十三人(二割二厘)泌

總 說

尿及生殖器病ノ九千六百十七人(一割六分八厘)之ニ亞キ消化器病八千九百五十三人(一割五分六厘)ヲ主ナルモノトス而シテ呼吸器病ノ内肺病ハ壹千五百十五人ナリ

工 場

適用工場及職工數

昭和六年十月一日現在ニ於ケル工場法適用工場ハ千七百八十四ニシテ内工場法施行規則第二十七條ニ依ル法ノ一部適用工場ハ七百三十九工場ナリ之等工場ヲ業務ニ依リ大別スレバ染織工場千四百三十八、機械工具工場六十八、化學工場七十四、飲食物工場九、雜工場百四十三、特別工場五十二ニシテ染織工場ハ總工場ノ八割強ヲ示ス而シテ之ヲ前年同期ト比較スルニ總數ニ於テ百五十一工場ノ増加ヲ示シ居レリ

尙之ニ等使用セラルル職工數ヲ見ルニ三萬一千六百五十三人ニシテ内工場法一部適用工場ニ使用セラルルモノハ四千二百三十三人ナリ又之等職工ヲ業務別ニ大別スレバ染織工場ニ使用セラルルモノ二萬九千三百三十九人、機械器具工場ニ三百七十二人、化學工場ニ千五百五十六人、飲食物工場ニ五十八人、雜工場ニ四百八十二人、特別工場ニ二百四十七人ナリ而シテ前年ト比較スルニ職工總數ニ於テ二千四百六十四人ヲ増加セリ

工 場 災 害

昭和六年中於ケル工場災害中職工ノ死傷總數ハ二百五十三人ニシテ内死亡ハ男七人、女一人ナリ之ヲ前年ト比較スルニ死亡六人、負傷十二人ノ増加ヲ示セリ

職工扶助金額

昭和六年中工場法ニ依リ工業主ニ於テ扶助シタル總金額ハ四千九百四十三圓一錢ニシテ前年ト比較スルニ二千九百四十七圓八十一錢ノ増加ナリ之前年ヨリ死亡者ノ多カリシト療養三年ニシテ治愈セサリシモノ一人ニ對シ打切扶助料ヲ支給シタルトニ由ル

原 動 機

昭和六年末ニ於ケル原動機取締規則ニ依ル原動機總數ハ四千九百八十八箇、總馬力二萬三千九百七十七馬力ニシテ前年ト比較スルニ五百七十四箇二千八百八十九馬力ノ増加ナリ

健 康 保 險

被 保 險 者

昭和七年三月末ニ於ケル管内政府管掌健康保險被保險者ノ總數ハ二萬三千五百八十人ニシテ本年度内ニ新ニ雇入其ノ他ノ原因ニ依リ資格取得(増)セルモノ一万六百九十一人、解雇其ノ他ノ原因ニ依リ資格喪失(減)セルモノ一萬八百九十五人ニシテ差引前年度末ニ比較シテ二百四人ヲ減少シタリ

工 場 及 事 業 場

昭和七年三月末ニ於ケル健康保險關係工場事業場及事業ノ總數ハ一千七百七ニシテ前年度末ニ比シ増減數等シキヲ以テ同數ナリ工場ノ大部分ヲ占ムルハ依然染織工場ノ七百十六ニシテ總數ノ七割一分ニ相當シ此ノ被保險者數二萬一千四百五十五人總數ノ大半ヲ占ム最モ僅少ナルハ飲食物工場ノ八ナリ

保 險 料 其ノ 他ノ 收 入 金

昭和六年度ニ於テ徴收シタル保險料ノ總額ハ二十三萬四千五百三十七圓六錢ニシテ前年度ニ比シ二千五百五十一圓ノ増額ヲ見タルハ被保險者數ノ増加(年度末ノ比較ニ於テハ減少セルモ平均數ニ於テ増加セリ)ニ因スルモノナリ、尙其ノ他雜收入百六十二圓三十二錢アリ

保 險 給 付 ノ 成 績

昭和六年度中ニ於ケル保險給付ノ總件數ハ八萬一千六百四十二件ニシテ之ニ要シタル費用ノ總額ハ三十三萬一千七百四十一圓七十九錢ナリ、之ヲ前年度ニ比スレバ件數ニ於テ九百七十九件ヲ増加シタルモ金額ニ於テ一萬四千九百三十一圓ノ減額ヲ來セリ

總シテ本縣ハ織物工場斷然多ク之ニ從事セル女子被保險者多數ニシテ總數ノ約八割ヲ占メ然モ有夫通勤ノモノ多キガ爲メ分娩ニ關スル給付金多額ニ達シ之ノミニテモ六年度中六萬二千八百三十五圓二十八錢ヲ要シタル狀況ナルヲ以テ保險料其ノ他ノ收入金二十三萬余圓アリト雖モ尙収支差引十萬二十圓二十錢ノ支出超過ヲ生ゼリ